



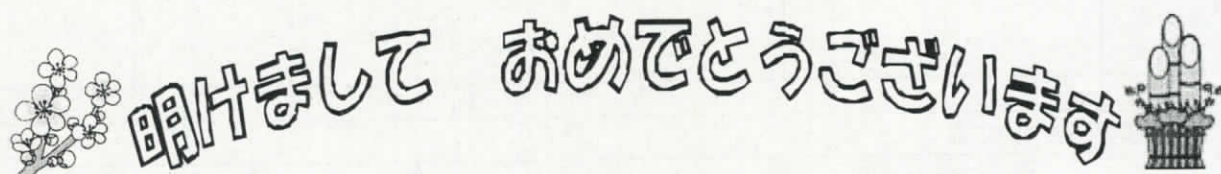
橋本市 青少年センターだより

平成28年(2016年) 1月号

橋本市教育委員会 社会教育課
(青少年センター)

TEL/FAX (0736) 32-2124

genki@3rd.city.hashimoto.wakayama.jp



初春の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。旧年中は、青少年センターの活動に深いご理解をいただき、少年非行の防止及び健全育成活動の推進にご尽力賜りありがとうございました。

橋本市青少年センターにおいても、補導活動をはじめ、相談活動や環境浄化活動、そして非行防止や立ち直り支援などの健全育成活動等を積極的に行っていきたいと思えます。さらに学校・警察・関係機関との連携を密にし、地域の皆様のご協力を得ながら、青少年の非行や事故等の防止のために努めたいと思っておりますので、今年も、皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成28年1月 橋本市青少年センター職員一同

七草粥(七草言えますか?)

1月7日は人日の節句ともいいます。この人日の節句は、江戸時代に定められた五つの節句の一つ。文字通り人の日とされ、過去の1年の厄払いをして、これから1年の無病息災と招福を祈願する日とされています。節句の節は、時節の変わり目における行事の日をさします。その朝に無病息災を願って七草粥を食べる。おせち料理とがらりとかわって質素であり、正月中のごちそうによる胃の負担をやわらげてくれる非常に理にかなった昔の人の生活の知恵です。心身ともにお正月気分から日常生活へ切り替えるというこの習慣は中国から伝わったものだそうで江戸時代には將軍家をはじめ一般家庭でも食べるようになったといわれています。

人日の節句は、冬休みが終わり学校がスタートする節目でもあります。進路決定や卒業・進級と1年の締めくくり、子ども達にとって大事な時期を迎えます。寒さに負けず気分新たに頑張っていぎましょう!

橋本市学校警察青少年センター連絡協議会 第2回定例会



平成27年12月4日(金)橋本市教育文化会館において、市内小・中・高等学校・支援学校の生徒指導担当教員、橋本・かつらぎ警察署の関係者、教育委員会関係者、青少年センター職員らが集い第2回学校警察青少年センター連絡協議会定例会が開催されました。応其小学校から生徒指導の取り組み、橋本警察、かつらぎ警察から管内の青少年の犯罪・非行状況等の報告をしていただきました。



春の七草は・・・

せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ です。全部言えましたか?^^

1 2 月補導状況 橋本署・かつらぎ署（橋本市内）分

学別 行為	小学生 男 女	中学生 男 女	高校生 男 女	有職少年 男 女	無職少年 男 女	その他 男 女	合計 男 女
喫煙			1	2	1		4
深夜徘徊		1	8	8	5		22
粗暴行為			5	1			6
怠学					1		1
暴走行為							
触法少年							
合計		1	9	10	7		27

有害図書等回収状況

有 害 図 書					そ の 他				
雑誌	マンガ・小説	DVD・ビデオ	合計		雑誌	マンガ・小説	DVD・ビデオ	合計	
1	0	0	1		15	13	0	28	

1 月 主な行事予定

- | | |
|---|--|
| 8日（金）防犯訓練（不審者対応）
（9:00 学文路中学校）
（13:00 高野口中学校） | 14日（木）紀北センター会（かつらぎ町）
19日（火）防犯訓練（不審者対応）
（11:00 隅田小学校） |
| 9日（土）蛭子特別補導（20:00） | 28日（木）西部中学校防犯訓練 |
| 10日（日）蛭子特別補導（13:00） | 29日（金）県センター会警察職員部会（白浜町） |
| 14日（木）やぎの箱回収 | |

センターのひとり言

青山学院大学2連覇。帝京大学7連覇。

昨年も1月の小欄で紹介した箱根駅伝、大学ラグビー優勝校です。とりわけ帝京大学ラグビー部は前人未踏の偉業達成で、選手もさることながら岩出雅之監督の手腕が高く評価されています。岩出監督の著書「負けない作法」の中に、子どもたちを指導する上でヒントとなるものがたくさん書かれています。本書の中では「周りの環境を整える」「体調は数値で管理する」「エキサイトしない、落ち込まない」「ふり返るクセをつける」「丁寧に生活する」ということがキーワードになっています。

グラウンド整備はもちろん選手が生活する寮の整備・清掃の徹底を求めています。きれいに整備された環境で練習に取り組むことで集中力がアップするという考えです。そして当たり前のことを当たり前にする生活。ゴミが落ちていれば拾う、人に会ったら挨拶をする、約束の期日や時間を守る…私たちが常日頃子ども達に言い続けていることです。大学生にそんなことをと思うかもしれませんが、あるプロゴルファーの専属キャディが「荷物を自分で持つようになってから勝てるようになってきた」とコメントしている記事を読んだことがあります。自分の荷物を自分で持つことなど当たり前なのですが、プロ選手でさえ当たり前のことに気づいていない人がいます。「自分でできることは自分で！」子どもを指導する鉄則の一つだと思います。

練習の準備や片付けなどは上級生が行います。大多数の学校では、入部したばかりの1年生が行うのが通例です。きっと何の疑問もなく、各校やり続けています。岩出監督の考えは、新しい環境に入ってきた1年生は、授業もたくさんあるし、東京の寮生活にも、部にも慣れてない。その1年生に仕事を押し付けると、慣れるのに時間がかかり、1年生からラグビーに集中できない。帝京では1年生からのびのび練習に打ち込めるので、4年間成長できる。他の大学とは成長のスタートラインが違う。上級生になれば、授業も少なく、先輩の仕事を見ているので、仕事に対するストレスもないというものです。しかし、そのやり方に移行する途中では、当然ながら上級生から反発もあり、根気強く時間をかけて変えていったそうです。20数年前、京都大学のアメリカンフットボール部を日本一に導いた水野監督も同じ考えでした。

青山学院の原監督も岩出監督も「日本一になること」を目的としていません。それは今の目標であって、それに向かって日々取り組むことで、学生たちがどのような人生を歩んでいくかを見据えて指導しています。

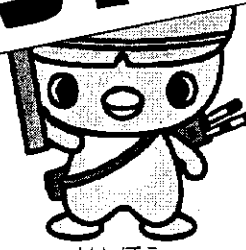
「リーダー以上に組織はならない。だから私が成長し続けることで帝京はもっと強くなる」。現状にあぐらをかくことなく前を見据えている両監督の連勝がどこまで続くか楽しみであり、青山学院、帝京を倒す学校の出現がそれ以上に楽しみです。

お知らせ

お引越

青少年センター

相談室が1月に



します!!

至 五條

R 2 4

至 和歌山市

●松源

●南都銀行

橋本市役所

●橋本こども園

☆ ココ ☆

立体駐車場

市役所
上下水道部



建物外観

教育文化会館

市民会館

急な坂道です。
足元にお気をつけ
下さい。



センターに職員は常駐していません。

来室の際は、事前にお電話下さい。

橋本市青少年センター 0736-32-2124